

【概要版】

二地域居住の促進に伴う実証事業

成果報告書

新潟県佐渡市 株式会社perch

【問い合わせ】

株式会社perch

移住・二地域居住推進担当

高橋 ゆい

yui@re-root.life

1. 業務の目的及び概要

佐渡市は人口減少、特に自然減が加速しています。移住促進の取り組みはあるものの、社会減の再増加や移住後の定着率の低下など、持続可能な対策が求められています。この事業では、単なる移住促進ではなく、二地域居住の可能性を検証し、持続可能な関係人口の創出へ向け調査を行います。主な目的は以下の3点です。

1. 佐渡における二地域居住の可能性を検証
2. 都市部住民と地域住民の関係構築
3. 継続的な二地域居住モデルの構築

2. 業務の概要

本事業では、以下の3つの主要な活動を実施しました。

- 二地域居住ツアー
佐渡の「住まい」「なりわい」「コミュニティ」を体験し、住む・働くイメージを持ってもらうツアーを実施。移住者との交流を通じて、佐渡の魅力と課題を把握する機会を提供。
- 二地域居住会議
佐渡市、地域プレイヤー、移住検討者が集まり、二地域居住における課題と可能性を議論。住まいの確保や地域コミュニティの形成について提案を策定。
- 起業家合宿
佐渡でのビジネス展開を考える起業家を支援し、地域の課題を理解しながら新規事業の可能性を探る合宿型プログラムを実施。

3. 業務フローとスケジュール

事業は以下のフローで実施されました。

1. 準備(9月～10月)
事業計画の策定、協力団体との調整、参加者募集など。
2. 二地域居住ツアー(11月16～17日)
佐渡の文化・自然・生活を体験。地域住民との交流や住環境の理解を深める。
3. 二地域居住会議(11月22～23日)
佐渡での二地域居住の可能性と課題を議論。
4. 起業家合宿(1月18～19日)
佐渡での起業機会の検討とビジネスモデルのブラッシュアップ。

5. 成果報告会(2月25日)
事業の成果をまとめ、今後の展望を発表。

4. 各事業での調査結果

- 二地域居住ツアー
参加者は佐渡島の自然や文化を学びながら、地元住民や移住者と交流。ツアー後、参加者からは「また来たい」との声が多く、島民との実際の交流が移住意欲を高める結果となりました。
- 二地域居住会議
住まいやなりわい、地域コミュニティの形成に向けた課題と解決策が議論され、特に「移住者の受け入れ体制整備」や「交通面の課題」が浮き彫りになりました。
- 起業家合宿
参加者は佐渡でのビジネス展開を検討し、地域の特性を活かした事業アイデアを発表。ネットワーキングを通じて、地域での事業展開の可能性を探る結果となりました。

5. 成果と今後の展望

- 参加者の反応
すべての参加者が「佐渡に再訪したい」と回答。コミュニティの存在や島民との交流が魅力的であり、今後も訪れたい要素として認識されました。
- 課題
佐渡で二地域居住を実現するためには、交通手段の改善やコミュニティ活動の活性化が課題として挙げられました。また、住まいやなりわいの確保、移住者への受け入れ体制の整備が必要です。

この事業をきっかけに、佐渡市は今後も二地域居住を促進するための実践的なアプローチを提供し、移住・定住の新たなモデル創出に貢献することを目指していきます。